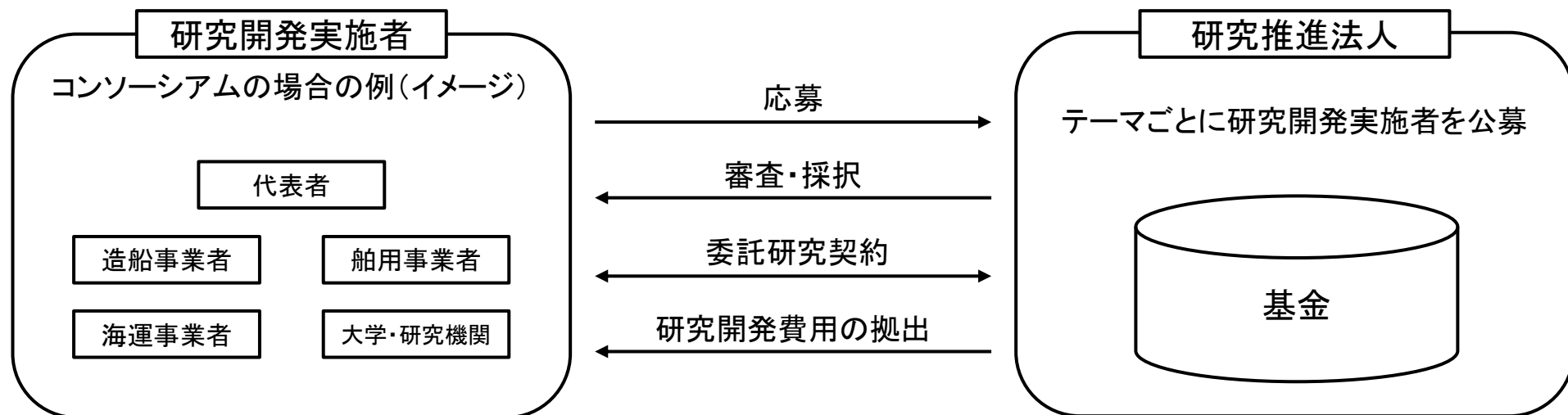


- 経済安全保障重要技術育成プログラム(K Program)は、令和4年5月に成立した経済安全保障推進法に基づき、我が国の経済安全保障にとって重要な技術に係る研究開発に対し、政府がその資金を拠出する仕組み。
- 政府は、令和4年9月に第1次研究開発ビジョンを策定し、総額2,500億円の支援対象テーマを決定。令和5年8月には第2次研究開発ビジョンを策定し、新たに総額2,500億円分の支援対象テーマを決定した。
- これらの予算は、研究推進法人(科学技術振興機構(JST)及び新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO))において基金として管理され、委託研究契約を締結した研究開発実施者に対して拠出される。
- 具体的には、支援対象のテーマごとに研究開発実施者の公募が行われ、研究推進法人による審査を経て採択される。研究開発実施者は、研究推進法人と委託研究契約を締結した上で研究開発を実施し、その研究開発費用について基金から拠出を受ける仕組み。



K Programによる支援対象とされた海事関連のテーマ

テーマ名

- デジタル技術を用いた高性能次世代船舶開発技術 及び 船舶の安定運航等に資する高解像度・高精度な環境変動予測技術

予算

- 最大120億円程度

実施期間

- 研究開発開始から5年以内

研究開発の目標

- 船舶の開発・設計・建造に要する期間の3割短縮
- 高解像度・高精度な気象・海象の予測

研究開発の内容

- 高性能な次世代船舶を効率的に開発・設計・建造可能なシステムの開発と実証
- 気象・海象の予測システムの開発と実証
- 造船・船用・海運事業者等が協調して活用可能な統合シミュレーション・プラットフォームの基盤構築



船舶の開発・設計・建造
期間の短縮及び高性能化

気象・海象の予測結果を
船舶の航路選択等に活用

統合シミュレーション・プラットフォーム

スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 令和5年8月 | 政府は第2次研究開発ビジョンを策定し、新たな支援対象テーマの1つとして「デジタル技術を用いた高性能次世代船舶開発技術 及び 船舶の安定運航等に資する高解像度・高精度な環境変動予測技術」が選定された |
| 令和5年12月 | 政府は、「デジタル技術を用いた高性能次世代船舶開発技術 及び 船舶の安定運航等に資する高解像度・高精度な環境変動予測技術」の予算額、実施期間、研究開発内容等(研究開発構想)を公表 |
| 令和6年～ | 今後、研究推進法人(JST)による研究開発実施者の公募が行われる予定

公募の後、研究推進法人(JST)による審査・採択を経て、研究開発が開始される予定 |